



【造船技術探究フィールドワークⅠ】

《目的》

地元造船会社や、機器の製造開発をおこなう企業の見学を通して、各産業分野の仕事内容等を理解するとともに、地域産業への理解を深める。

《実施内容》

株式会社新来島どっく、株式会社三浦マニファクチャリングでのフィールドワーク

《取組》

- 日 時 平成29年6月21日(水)
- 場 所 株式会社新来島どっく 大西工場
三浦マニファクチャリング北条工場
- 対 象 機械造船科1年生 38名
- 内 容 船の建造工程・ボイラの製造工程の見学

《生徒の感想・学んだこと》

- ・自分の住んでいる地域に、これだけたくさんの産業があることを誇りに思いました。
- ・機械の技術だけでなく、人の技術がとても大事であることが分かりました。
- ・工場では溶接が多く行われていたので、溶接を特に頑張ろうと思いました。
- ・火と水を使って鋼板を曲げ、船の部品をつくる作業を見て、とてもすごい技術だと思いました。
- ・私は将来、船関係の仕事に就きたいと考えているので、とても良い経験になりました。

《企業の方のコメント》

- ・興味・関心を持って、まじめに取り組んでおり、前向きな姿勢であった。
- ・ライン生産で製品が出来る様子を前のめりになって見学する生徒や、溶接作業に興味を持ち、熱心に見学する生徒等が見られ、積極的な取組であった。

《SPH推進アドバイザー岡田さんの助言》

今治工業高校の卒業生が真剣に働く姿を見て、社会に出て働くことに対する意識が高まり、仕事内容への興味・関心を深めることができた様子であった。

《成果・今後の課題》

実施後の生徒のアンケートでは、ほとんどの生徒が「積極的に取り組み、学ぶ意欲が高まった。」「自分の将来の職業に対する意識が高まった。」という回答であったほか、地元企業で働くことへの興味・関心についての質問についても同様の傾向が見られた。今後も、望ましい勤労観・職業観が育成されるとともに、地元産業への理解が深まるよう取り組んでいきたい。

